

# 第 5 章

## 施策 2 基本事業 1

評価対象年度	令和 6 年度	事務事業評価シート			作成日	令和 7 年 5 月 9 日
事務事業名	商工会補助事業			事業類型	補助金	
担当部課G等	産業部 商工観光課	商工観光グループ	記入者氏名			
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第5章 活力あふれる交流と賑わいのまちづくり			■ 実施計画対象事業	
	施策名	2 地域に活力をもたらす商工業の振興を図る				
	基本事業名	1 商業の振興				
予算科目	一般会計	款 06	項 01	目 02	事業名 商工会補助事業	根拠法令 那珂市商工会事業費補助金交付要項
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)					
事業概要						
【全体概要】 中小企業者の経営改善及び近代化・合理化を図るため、那珂市商工会に対し補助を行い、各種指導・相談業務の強化を支援し、中小企業の活性化を促進する。				【業務内容】 那珂市商工会への補助金交付事務 ・事業費補助		

1 現状把握の部(DOシート)	
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移	単位 05年度(実績) 06年度(実績) 07年度(見込) 08年度(計画) 09年度(計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)
・市内中小企業の経営者(商工会員)	事業所数(R3経済センサス活動調査付表1) 箇所 1945. 1945. 1945. 1945. 1945.
	商工会会員数 名 1080. 1060. 1060. 1060. 1060.
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)
・運営補助及び斡旋委託(人件費補助、事業費補助)	商工会支部・部会等事業開催回数 回 71. 59. 59. 59. 59.
	0. 0. 0. 0. 0.
	0. 0. 0. 0. 0.
	0. 0. 0. 0. 0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)
・経営の改善及び近代化、合理化を図る ・競争力の向上を図る ・地域雇用の創出、安定化を図る	金融斡旋事業(貸付件数) 件 70. 118. 118. 118. 118.
	指導件数及び講習会参加数 件 2067. 2040. 2040. 2040. 2040.
	0. 0. 0. 0. 0.
	0. 0. 0. 0. 0.
(2)投入量の推移	単位 05年度(実績) 06年度(実績) 07年度(見込) 08年度(計画) 09年度(計画) 総事業費
事業内 費 財 源 内 訳	国庫支出金 千円 0 0 0 0 0 0
	県支出金 千円 0 0 0 0 0 0
	地方債 千円 0 0 0 0 0 0
	その他 千円 0 0 0 0 0 0
	一般財源 千円 13,000 13,000 13,000 13,000 13,000 0
	事業費計(A) 千円 13,000 13,000 13,000 13,000 13,000 0
	人件費計(B) 千円 1,595 0.30人 675 0.10人 675 0.10人 675 0.10人
投入量(A)+(B) 千円 14,595 13,675 13,675 13,675 13,675	
(3)事務事業の環境変化・市民意見等	
①事業を始めたきっかけ	地域の経済団体の中心的存在である商工会の活動をより活性化させることで、市内中小企業振興の底上げを図ることができる。
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	近年、商工会の会員数の減少等により財政運営は厳しくなっており、県商工会連合会への人事一元化による正規職員数の適正化や積立金等の取り崩しによる財政確保など、より効率的な団体運営に努めている。
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	商工業活性化のため、今後も継続して支援を行なってほしい(那珂市商工会)

(4) 前回(令和5年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み			
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？また、取り組み後どのように変わりましたか？見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価)	(前回評価結果を踏まえて見直した内容)	(見直し内容に関する予算への反映)
	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	商工会と連携し情報共有や周知徹底を実施した。市ホームページによる情報発信では、レイアウトの変更や内容の修正を実施し、わかりやすいページの作成をすることができ、市民の方からの質問等は減少し、業務の効率化を図ることができた。	<input type="checkbox"/> 削減(事業費 <input type="text" value="0"/> 千円) (人件費 <input type="text" value="0"/> 千円) <input type="checkbox"/> 増加(事業費 <input type="text" value="0"/> 千円) (人件費 <input type="text" value="0"/> 千円) <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価		
目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？●民間事業者は類似の事業を実施していますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 商工会は市内の商工業者が多数加入しており、市内商工業の発展及び振興において必要不可欠であり、市が関与することは妥当である。
	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？●成果が一部の対象者に限定されていませんか？●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 多様に変化する社会情勢を踏まえた対応が必須であり、市内の商工業者支援を検討及び実施する際に商工会との連携は今後も必要である。
	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似の事業はないため、統廃合の余地はない。
	④ 事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 事業にかかる諸経費について適正に補助しており、事業費及び人件費の削減余地はない。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 市補助金の積算根拠を明確化しており、会員の会費も自己負担しており適正である。

3 計画の部(PPLAN)																						
(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載																						
<div><input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → <div><input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善</div> → <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)</div>																						
改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画)	改革・改善による期待成果 <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td>○</td><td>×</td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td>×</td><td>×</td></tr></table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○	×																		
	低下		×	×																		
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載																						
<div><input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 )</div> <div>改革・改善の具体的内容(1次評価者と同じの場合も記入)</div>																						
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))																						
<div><input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )</div>																						
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																						
<div><input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )</div>																						

評価対象年度	令和 6 年度		事務事業評価シート				作成日	令和 7 年 5 月 15 日	
事務事業名	特産品ブランド化推進事業				事業類型	活動支援			
担当部課G等	産業部 商工観光課		商工観光グループ		記入者氏名				
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第5章 活力あふれる交流と賑わいのまちづくり				■ 実施計画 対象事業		
	施策名		2 地域に活力をもたらす商工業の振興を図る						
	基本事業名		1 商業の振興						
予算科目	一般会計	款 06	項 01	目 02	事業名 特産品ブランド化推進事業	根拠法令	那珂市特産品ブランド認証要綱		
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)				<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)				
事業概要									
【全体概要】 特産品の付加価値向上及び競争力強化を図るため、品目ごとに定める認証基準に適合する「那珂市特産品ブランド」を認証して、確かな品質・技術を伝える地場産品である証をアピールし、消費者の信頼を高め、地場産業の活性化を図る。					【業務内容】 那珂市特産品ブランド認証に関する業務 那珂市特産品ブランド認証品のPRに関する業務				

1 現状把握の部(DOシート)											
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (見込)	08年度 (計画)	09年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 ・市内特産品を生産及び加工する事業者						④対象指標(対象の大きさを表す指標) 商工会部会会員数(商業・サービス業)					
						人	622.	617.	617.	617.	617.
							0.	0.	0.	0.	0.
②手段(具体的な事務事業のやり方) 認証品の募集をする。 認証品についてはPR活動を行う。						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 申請件数					
						件	10.	13.	15.	15.	15.
						回	24.	18.	19.	20.	21.
						件	28.	27.	27.	27.	27.
							0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか) 事業者に対し、特産品の意識啓発を図り特産品の積極的な掘り起し及び開発を促進させる。ブランド品はPR活動を通してイメージ向上と販路拡大をし、市の産業の発展に繋げる。						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度) 新規認証件数					
						件	0.	1.	2.	2.	2.
						件	7.	8.	9.	7.	9.
							0.	0.	0.	0.	0.
							0.	0.	0.	0.	0.
(2)投入量の推移										総事業費	
事業費内訳	国庫支出金	千円	0	1,026	1,096	1,096	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	100	0	10	10	10	0			
	一般財源	千円	850	1,176	4,397	4,397	4,333	0			
	事業費計(A)	千円	950	2,202	5,503	5,503	4,343	0			
	人件費計(B)	千円	2,475	0.45人	2,765	0.55人	2,765	0.55人	2,765	0.55人	
投入量(A)+(B)		千円	3,425		4,967	8,268	8,268	7,108			
(3)事務事業の環境変化・市民意見等											
①事業を始めたきっかけ			那珂市における地域資源を活用した商品づくり、それらに関する情報発信及び維持向上を図り、地域資源のブランド化を効率的に推進し、地場産業の活性化に資するため。								
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどうか変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			Eコマースの急速な普及などにより、事業者を取り巻く環境は大きく変化している。本市同様に特産品認証事業を行う市町村は多いが、近年、商品の改良まで踏み込んだ事業体制とするとところが散見される。								
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			ブランド認証された業者から、「売り上げアップにつながった」、「店頭に並んだ際に同様な商品と差別化が図られた」など前向きな意見のほか、「認証メリットが低い」など、事業の改善を望む声も挙げられている。								

<p> <input type="checkbox"/> 終了  <input type="checkbox"/> 廃止  <input type="checkbox"/> 休止  <input type="checkbox"/> 統廃合  <input checked="" type="checkbox"/> 見直し  <input type="checkbox"/> 現状維持 </p>	<p> (前回最終評価)  (前回評価結果を踏まえて見直した内容)  より効果的なPRを行うため、那珂市特産品ブランド「いい那珂いいもの」ホームページを作成した。また、ホームページへの誘導ツールとして、QRコードを掲載したカードを作成した。 </p>	<p> (見直し内容に関する予算への反映)  <input type="checkbox"/> 削減 (事業費 0 千円)  (人件費 0 千円)  <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 0 千円)  (人件費 0 千円)  <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし </p>
--	---	--

目的 妥当性 評価	<p>① 市関与の妥当性</p> <p>●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？●民間事業者は類似の事業を実施していますか？</p>	<p><input type="checkbox"/> 妥当である</p> <p><input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部に「現状維持」以外にチェック)</p> <p>那珂市の産品における付加価値向上及び競争力強化を図ることを目的としており、シティプロモーションの効果も期待されるため、市が関与することは妥当である。</p>
	<p>② 成果の向上余地</p> <p>●当初の見通しに沿った成果となっていますか？●成果が一部の対象者に限定されてはいませんか？●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？</p>	<p><input type="checkbox"/> 余地がない</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部に「現状維持」以外にチェック)</p> <p>より一層の認証品のPRが必要である。SNS等の活用も検討していく必要がある。</p>
有効性 評価	<p>③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性</p> <p>●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込まれますか？</p>	<p><input type="checkbox"/> 統廃合の余地がない</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部に「現状維持」以外にチェック)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部に「現状維持」以外にチェック)</p> <p>本事業は「特産品の認証及びその商品PR」、「商品改良の支援」を柱とするが、商品改良の支援については「いい那珂産品開発補助事業」でも行っているため、令和7年度より統合する予定である。市内をはじめとした事業者による産品開発、生産等を通じ、市場での生き残りを支援する事業といえるため、廃止・休止の可能性はない。</p>
	<p>④ 事業費や人件費の削減余地</p> <p>●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？●事業目的にそぐわない支出はありませんか？</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない</p> <p><input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部に「現状維持」以外にチェック)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない</p> <p><input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部に「現状維持」以外にチェック)</p> <p>事業費は必要最低限の広報関連費用に限られ、削減の余地はない。また、人件費についても必要最低限で取り組んでいるが、事業の重要性に鑑み、一層のリソース投入が求められる。</p>
公平性 評価	<p>⑤ 受益者負担の適正余地</p> <p>●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 適正である</p> <p><input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部に「現状維持」以外にチェック)</p> <p><input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない</p> <p>本事業において特産品の開発及び改良にかかる費用は事業者が負担することとしており、適正である。</p>

※担当課長、グループ長、担当者が記載

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性)

☐ 終了    ☐ 廃止    ☐ 休止    ☐ 統廃合  
☒ 継続 → ☒ 見直し(改革・改善) → {  
                                     ☐ 目的の再設定         ■ 有効性の改善    ☐ 効率性の改善  
                                     ☐ 公平性の改善 }  
                                     → ☐ 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)

改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画)  
 現状のコストを維持しつつ、より広範囲なPRを展開する。また、事業者へのヒアリングなどにより商品改良のニーズを探るとともに、「いい那珂産品開発事業」と統合し、特産品開発についての支援拡充を図る。

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上		○	
	維持			X
	低下		X	X

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載

☐ 終了    ☐ 廃止    ☐ 休止    ☐ 統廃合    ☒ 継続 (■ 見直し    ☐ 現状維持 )

改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入)  
 現状のコストを維持しつつ、より広範囲なPRを展開する。また、事業者へのヒアリングなどにより商品改良のニーズを探るとともに、「いい那珂産品開発事業」と統合し、特産品開発についての支援拡充を図る。

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))

☐ 終了    ☐ 廃止    ☐ 休止    ☐ 統廃合    ☐ 継続 ( ☐ 見直し    ☐ 現状維持 )

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)

☐ 終了    ☐ 廃止    ☐ 休止    ☐ 統廃合    ☐ 継続 ( ☐ 見直し    ☐ 現状維持 )

評価対象年度	令和 6 年度	事務事業評価シート				作成日	令和 7 年	5 月	9 日		
事務事業名	産業祭事業				事業類型	補助金					
担当部課G等	産業部 商工観光課		商工観光グループ		記入者氏名						
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第5章 活力あふれる交流と賑わいのまちづくり				■ 実施計画 対象事業				
	施策名		2 地域に活力をもたらし商工業の振興を図る								
	基本事業名		1 商業の振興								
予算科目	一般会計	款 06	項 01	目 02	事業名 産業祭事業	根拠法令					
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ				<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ～ 年度)				
事業概要											
【全体概要】 商工会や農業団体、事業者などが連携し、地元農産物や商工業製品等の展示販売し、市内の産業をPRする産業祭開催の支援を実施					【業務内容】 産業祭実施のための補助						
1 現状把握の部(DOシート)											
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移					単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (見込)	08年度 (計画)	09年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等					④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
市民及び近隣市町村民 市内の商工業者					人口	人	52700.	52365.	0.	0.	0.
					市内商工業者(商工会会員数)	人	1080.	1060.	0.	0.	0.
②手段(具体的な事務事業のやり方)					⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
実行委員会を組織し、補助する。 実行委員会が産業祭の開催を運営する。					実行委員会開催数	回	4.	3.	0.	0.	0.
							0.	0.	0.	0.	0.
							0.	0.	0.	0.	0.
							0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)					⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
市内の産業を広く紹介し、事業者・生産者と消費者の交流機会を創出するとともに、多くの人に来場してもらう。 ※令和元年度は台風の影響により中止。 ※令和2・3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止。					来場者	人	15000.	18000.	0.	0.	0.
					参加事業者数	事業者	34.	40.	0.	0.	0.
							0.	0.	0.	0.	0.
							0.	0.	0.	0.	0.
(2)投入量の推移					単位	05年度(実績)	06年度(実績)	07年度(見込)	08年度(計画)	09年度(計画)	総事業費
事業費 内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0		
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0		
	一般財源	千円	2,160	2,100	0	0	0	2,100			
	事業費計(A)	千円	2,160	2,100	0	0	0	2,100			
人件費計(B)		千円	1,770	0.40人	970	0.15人	0	0.00人	0	0.00人	
投入量(A)+(B)		千円	3,930	3,070	0	0	0	0			
(3)事務事業の環境変化・市民意見等											
①事業を始めたきっかけ		商工会、農業団体、事業者などが連携をすることにより、地元農産物や製品などを多くPRすることができるためH27から開催している。									
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		周辺市町村において同時期(10月～11月)に他のイベントが複数開催されており、集客の分散が懸念される。									
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		イベント参加を通して同業種との横の連携などの良い機会となったとの意見をいただいている。カミスガとの合同開催の声がある。									

(4) 前回(令和5年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み					
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価)	(前回評価結果を踏まえて見直した内容)	(見直し内容に関する予算への反映)		
	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	カミスガとの連携を密に図りイベントを開催したこと、前年より集客を増加することができた。	<input type="checkbox"/> 削減（事業費）0千円 （人件費）0千円 <input type="checkbox"/> 増加（事業費）0千円 （人件費）0千円 <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし		

2 評価の部(SEE)\*原則は事後評価、ただし複数年事業は途中評価

<p>目的 妥当性 評価</p>	<p>① 市関与の妥当性</p> <p>●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？</p>	<p><input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p>商工会主体の事務作業等は大幅に削減することができた。市の農商工における振興を目的としているイベントのため、市がこの事業を行うことは妥当である。</p>
<p>有効性 評価</p>	<p>② 成果の向上余地</p> <p>●当初の見通しに沿った成果となっていますか？●成果が一部の対象者に限定されてはいませんか？●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？</p>	<p><input type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p>令和5年度よりカミスガと合同開催となり、広報紙やSNSを活用したPRを実施したため、入込客数は前年度より増加した。成果として一部に限定せず多くの方に楽しんでもらえたイベントとなり、十分に成果が得られた。</p>
<p>評価</p>	<p>③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性</p> <p>●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込まれますか？</p>	<p><input type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p>なかひまわりフェスティバルのイベント廃止に伴い、新規イベントへ事業を統合する予定である。</p>
<p>効率性 評価</p>	<p>④ 事業費や人件費の削減余地</p> <p>●成果を下げずに、単位当たりのコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？●事業目的にそぐわない支出はありませんか？</p>	<p><input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p><input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p>農商工の各団体が主体となり事業を実施しており、事業費の削減の余地はない。基本的には商工会が事務を担っており、担当者の事務負担は減少しているため、これ以上の削減余地はない。</p>
<p>公平性 評価</p>	<p>⑤ 受益者負担の適正余地</p> <p>●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？</p>	<p><input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p><input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない</p> <p>各団体からは負担金、参加団体からは出展料を徴収しており適正である。</p>

### 3 計画の部(PPLAN)

※担当課長、グループ長、担当者が記載

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性)

<input type="checkbox"/> 終了	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合	
<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善)→		<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 公平性の改善	<input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善
	↓ <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)			

改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画)  
「なかひまわりフェスティバル」の課題解決も踏まえ「産業際」と統廃合し、新たなイベント「いい那珂フェスティバル」を開催する。

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	×
	低下		×	×

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載

☐ 終了    ☐ 廃止    ☐ 休止    ☒ 統廃合    ☐ 継続    (☐ 見直し    ☐ 現状維持)

改革・改善の具体的内容(1次評価者と同じの場合も記入)  
「なかひまわりフェスティバル」の課題解決も踏まえ「産業際」と統廃合し、新たなイベント「いい那珂フェスティバル」を開催する。

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))

☐ 終了    ☐ 廃止    ☐ 休止    ☐ 統廃合    ☐ 継続    (☐ 見直し    ☐ 現状維持)

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)

☐ 終了    ☐ 廃止    ☐ 休止    ☐ 統廃合    ☐ 継続    (☐ 見直し    ☐ 現状維持)

評価対象年度	令和 6 年度	事務事業評価シート				作成日	令和 7 年	5 月	12 日			
						点検日	令和 7 年	5 月	19 日			
事務事業名	複合型交流拠点施設「道の駅」推進事業					事業類型	まちづくりの推進					
担当部課G等	産業部 商工観光課		インターチェンジ周辺開発推進室		記入者氏名							
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第5章 活力あふれる交流と賑わいのまちづくり					■ 実施計画 対象事業				
	施策名		2 地域に活力をもたらす商工業の振興を図る									
	基本事業名		1 商業の振興									
予算科目	一般会計	款 06	項 01	目 02	事業名 複合型交流拠点施設「道の駅」推進事業	根拠法令						
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (令和 4 年度～令和 6 年度)											
事業概要												
【全体概要】 国道118号の4車線化や県植物園等のリニューアル計画などの好機(チャンス)を逃すことなく、地元農畜産物等の販路拡大を目的とした直売施設をはじめ、市民交流、防災、高速バス乗降所等の機能を併せ持つ複合型交流拠点施設「道の駅」を整備することにより、これまで実現できなかった那珂ICを活用した地域活性化策に挑戦し、新たな「那珂市の強み」を創造する。					【業務内容】 ○管理運営体制構築検討 ・道の駅建設準備委員会 ・第三セクター設立準備委員会 ・出荷者組合設立準備委員会 ○測量・地質調査 ○不動産鑑定 ○物件補償調査 ○基本設計							
1 現状把握の部(DOシート)												
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (見込)	08年度 (計画)	09年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
・市民 ・観光客						人口	人	52700.	52365.	0.	0.	0.
						観光入込客数	万人	17.9	12.	0.	0.	0.
②手段(具体的な事務事業のやり方)						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
・検討(準備)委員会開催 ・先進地視察調査 ・整備実現に向けた計画策定及び調査業務 等						検討(準備)委員会開催数	回	11.	10.	0.	0.	0.
						先進地視察調査数	箇所	3.	5.	0.	0.	0.
						委託業務数	業務	5.	10.	0.	0.	0.
						議会報告数	回	3.	5.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
複合型交流拠点施設「道の駅」を整備することにより、那珂ICを利用する観光客等を誘導し、交流・関係人口の増加や地域の活性化を図る。						行政サービスに対する住民満足度	%	77.39	72.09	0.	0.	0.
						観光入込客数	万人	17.9	12.7	0.	0.	0.
						市特産品ブランド認証品	品	28.	25.	0.	0.	0.
								0.	0.	0.	0.	0.
(2)投入量の推移						単位	05年度(実績)	06年度(実績)	07年度(見込)	08年度(計画)	09年度(計画)	総事業費
事業費内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	17,276				
	県支出金	千円	0	0	0	0	0					
	地方債	千円	0	0	0	0	0					
	その他	千円	0	90,445	0	0	111,917					
	一般財源	千円	34,205	21,472	0	0	52,027					
	事業費計(A)	千円	34,205	111,917	0	0	181,220					
人件費計(B)		千円	13,300	2,00人	13,500	2,00人	0	0.00人	0	0.00人		
投入量(A)+(B)		千円	47,505		125,417		0		0			
(3)事務事業の環境変化・市民意見等												
①事業を始めたきっかけ		那珂ICは供用開始から39年が経過し、その間、民間等による開発構想が何度か立ち上がるも実現には至らず、国道118号の4車線化や県植物園等のリニューアル計画などを好機と捉え検討を開始した。										
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどうか変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		道の駅は単なる休憩所にとどまらず、観光情報の発信や地域産品の販売などに加え、子育て支援や防災など、多様な役割を果たす「地域の交流拠点」として新たな展開が進んでいる。										
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		市民アンケートや検討委員会からは、道の駅整備について「推進すべき」との意見が寄せられている一方で、議会からは、運営面における懸念やスケジュールの再検討、周辺地域の開発などについて意見が出ている。										



<p> <input type="checkbox"/> 終了  <input type="checkbox"/> 廃止  <input type="checkbox"/> 休止  <input type="checkbox"/> 統廃合  <input checked="" type="checkbox"/> 見直し  <input type="checkbox"/> 現状維持 </p>	<p> (前回最終評価)  (前回評価結果を踏まえて見直した内容)  R6年度に基本設計を策定し、市民説明会及びパブリックコメントを経て、R7年第1回定例会において議会との合意形成が図られた(令和7年度予算可決)ことから、次年度は実施設計の策定を実施する。 </p>	<p> (見直し内容に関する予算への反映)  <input type="checkbox"/> 削減(事業費 0 千円)  (人件費 0 千円)  <input checked="" type="checkbox"/> 増加(事業費 412,272 千円)  (人件費 13,500 千円)  <input type="checkbox"/> 反映なし </p>
--	---	---

目的 妥当性 評価	<p>① 市関与の妥当性</p> <p>●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？●国や県ではないが、市が実施する理由はあるんですか？●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？</p>	<p><input type="checkbox"/> 妥当である</p> <p>■ 見直す必要がある(→3計画の部に「現状維持」以外にチェック)</p> <p>那珂IC周辺地域の活性化については市の長年の課題であり、市が主体となって調査・検討することは妥当である。また、「まちづくりの方針」として示された複合型交流拠点施設「道の駅」は公共公益性が高い施設であるため、市が整備を推進することは妥当である。</p>
	<p>② 成果の向上余地</p> <p>●当初の見通しに沿った成果となっていますか？●成果が一部の対象者に限定されてはいませんか？●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？</p>	<p><input type="checkbox"/> 余地がない</p> <p>■ 余地がある(→3計画の部に「現状維持」以外にチェック)</p> <p>国道118号の4車線化や県植物園等のリニューアル計画が進む中、那珂IC周辺地域に、誘客力を高める魅力度の高い「道の駅」を整備することにより、県植物園や県北地域との連携が強化され、交流人口の増加や地域産業の活性化が期待できる。</p>
有効性 評価	<p>③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性</p> <p>●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込まれますか？</p>	<p><input type="checkbox"/> 統廃合の余地がない</p> <p>■ 統廃合の余地がある(→3計画の部に「現状維持」以外にチェック)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない</p> <p>■ 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部に「現状維持」以外にチェック)</p> <p>他に類似事業がないため統廃合の余地はない。 長年の課題であった那珂IC周辺地域における「まちづくりの方針」を決定し、今後はこの方針及び基本構想・基本計画、基本設計に基づき事業を積極的に推進していくこととしているため、廃止・休止の可能性はない。</p>
	<p>④ 事業費や人件費の削減余地</p> <p>●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？●事業目的にそぐわない支出はありませんか？</p>	<p><input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない</p> <p>■ 事業費の削減余地がある(→3計画の部に「現状維持」以外にチェック)</p> <p><input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない</p> <p>■ 人件費の削減余地がある(→3計画の部に「現状維持」以外にチェック)</p> <p>那珂IC周辺地域における「まちづくりの方針」に基づき、「道の駅」整備に向けた事業を推進していくためには、委託業務をはじめ様々な業務が必要となることから、事業費及び人件費の削減余地はない。ただし整備にあたっては可能な限り補助金等の活用を検討する。</p>
効率性 評価	<p>⑤ 受益者負担の適正余地</p> <p>●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？</p>	<p><input type="checkbox"/> 適正である</p> <p>■ 受益者負担を求める事業ではない</p> <p><input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部に「現状維持」以外にチェック)</p> <p>市が主体となり市民や民間事業者等と連携を図りながら、那珂IC周辺地域を活用した地域活性化策を推進していく事業であるため、受益者負担を求めるものではない。</p>
公平性 評価		

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性)

※担当課長、グループ長、担当者が記載

<input checked="" type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 →	<input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 } ↓ <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)
--	--

---

**改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画)**

R6年度に基本設計を策定し、市民説明会及びパブリックコメントを経て、R7年第1回定例会において議会との合意形成が図られた(令和7年度予算可決)ことから、「道の駅」推進事業としては事務事業を終了し、次年度からは、「道の駅」整備事業として、道の駅整備課が実施設計や用地取得などの事務事業を実施していく。

**改革・改善による期待成果**

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			
	低下			

---

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載

☒ 終了    ☐ 廃止    ☐ 休止    ☐ 統廃合    ☐ 継続    (☐ 見直し    ☐ 現状維持 )

**改革・改善の具体的内容(1次評価者と同じの場合も記入)**

R6年度に基本設計を策定し、市民説明会及びパブリックコメントを経て、R7年第1回定例会において議会との合意形成が図られた(令和7年度予算可決)ことから、「道の駅」推進事業としては事務事業を終了し、次年度からは、「道の駅」整備事業として、道の駅整備課が実施設計や用地取得などの事務事業を実施していく。

---

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))

☐ 終了    ☐ 廃止    ☐ 休止    ☐ 統廃合    ☐ 継続    (☐ 見直し    ☐ 現状維持 )

---

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)

☐ 終了    ☐ 廃止    ☐ 休止    ☐ 統廃合    ☐ 継続    (☐ 見直し    ☐ 現状維持 )

# 第 5 章

## 施策 2 基本事業 2

評価対象年度	令和 6 年度	事務事業評価シート			作成日	令和 7 年 6 月 11 日
事務事業名	企業立地促進事業			事業類型	企業誘致	
担当部課G等	企画部 政策企画課		政策企画グループ	記入者氏名		
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第5章 活力あふれる交流と賑わいのまちづくり			■ 実施計画 対象事業
	施策名		2 地域に活力をもたらす商工業の振興を図る			
	基本事業名		2 工業の振興			
予算科目	一般会計	款 06	項 01	目 02	事業名 企業立地促進事業	根拠法令
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ      ■ 単年度繰返 (開始年度 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)					
事業概要						
【全体概要】 茨城県立地推進課、茨城県工業団地企業立地協議会等と連携を図る。また、民間企業への調査、ヒアリング、PR周知等を行い、那珂西部工業団地等の未利用地への企業誘致を促進する。				【業務内容】 茨城県、茨城県工業団地企業立地協議会等との連携、企業誘致支援サービス事業業務委託による民間企業への調査、ヒアリング、PR周知等の実施、企業誘致促進活動等		

1 現状把握の部(DOシート)										
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移				単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (見込)	08年度 (計画)	09年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等				④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
那珂西部工業団地の未利用地 向山工業専用地域 等				那珂西部工業団地の未利 用地面積	ha	5.	0.	0.	0.	
				向山工業専用地域の未利 用地面積	ha	21.	21.	20.75	20.5	20.25
②手段(具体的な事務事業のやり方)				⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
工業団地関連協議会等との情報交換 各種セミナーへの参加 企業への個別相談・照会				企業等との個別相談・照会	回	26.	6.	15.	15.	
						0.	0.	0.	0.	
						0.	0.	0.	0.	
						0.	0.	0.	0.	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)				⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
企業が立地し、産業の振興と財源の確保及び雇用の 拡大を図る。				市民税(個人及び法人)合 計額	千円	3031200.	2896538.	2900000.	2900000.	
				那珂西部工業団地内企業 の雇用者数	人	1024.	1011.	1200.	1200.	
				未利用地への進出企業面 積	ha	5.	0.	0.25	0.25	
						0.	0.	0.	0.	
(2)投入量の推移				単位	05年度(実績)	06年度(実績)	07年度(見込)	08年度(計画)	09年度(計画)	総事業費
事業 費 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
	県支出金	千円	0	0	0	0	0			
	事業費	千円	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	3,857	2,745	5,749	6,267	6,267			
	事業費計(A)	千円	3,857	2,745	5,749	6,267	6,267			
	人件費計(B)	千円	6,262	1.22人	2,700	0.40人	2,700	0.40人	2,700	0.40人
投入量(A)+(B)		千円	10,119	5,445	8,449	8,967	8,967			
(3)事務事業の環境変化・市民意見等										
①事業を始めたきっかけ				平成6年3月に那珂西部工業団地造成が完了した。未分譲地が1区画(5.0ha)残っており、企業を積極的に誘致し新たな雇用の創出や市税の増収を図る必要があるため。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)				那珂西部工業団地は、H30年2月に分譲価格が見直され求めやすい価格設定になったこともあり残り区画が売却された。残っている工業専用地域等の未開発地は民地であり、民間開発の誘導が必要となっている。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)				企業誘致を推進し、地域産業の活性化や雇用の創出等を図ってほしい。 企業の動きが活発化している圏央道沿線地域等と比べて首都圏からは少し距離がある。						

<p>前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？</p>	<p>(前回最終評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 終了</li> <li><input type="checkbox"/> 廃止</li> <li><input type="checkbox"/> 休止</li> <li><input type="checkbox"/> 統廃合</li> <li><input type="checkbox"/> 見直し</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</li> </ul>	<p>(前回評価結果を踏まえて見直した内容)</p>	<p>(見直し内容に関する予算への反映)</p> <div style="margin-left: 20px;"> <input type="checkbox"/> 削減（事業費）<span style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">0</span> 千円                          (人件費)       <span style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">0</span> 千円  <input type="checkbox"/> 増加（事業費）<span style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">0</span> 千円                          (人件費)       <span style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">0</span> 千円  <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし       </div>
---	---	----------------------------	---

<p>目的 妥当性 評価</p>	<p>① 市関与の妥当性</p> <p>●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？●国や県ではないが、市が実施する理由はなんですか？●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？</p>	<p><input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p>企業立地の促進は、新たな雇用の創出や地域産業の集積、市税の増収や地域活性化等の波及効果が期待できることから、市が積極的に取り組むべきものである。</p>
<p>有効性 評価</p>	<p>② 成果の向上余地</p> <p>●当初の見通しに沿った成果となっていますか？●成果が一部の対象者に限定されてはいませんか？●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？</p>	<p><input type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p>企業の需要調査を行うとともに、企業からの立地に向けた相談に迅速に対応しているが、民間の企業活動によるところが大きいいため、これ以上の成果の向上は難しい。</p>
<p>有効性 評価</p>	<p>③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性</p> <p>●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込まれますか？</p>	<p><input type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p>類似事業がないため、統廃合の余地がない。 雇用の創出や地域の活性のため企業立地を促進する必要があるため、廃止・休止は適当でない。</p>
<p>効率性 評価</p>	<p>④ 事業費や人件費の削減余地</p> <p>●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？●事業目的にそぐわない支出はありませんか？</p>	<p><input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p><input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p>県協議会への負担金や、セミナー及び企業訪問に係る経費については最小の事務費である。また、企業情報の収集や市のPR活動等にかかる経費については、継続的な活動が必要であるため削減の余地はない。人件費についても、情報収集の整理や企業対応に必要な最小限の人員であるため、削減の余地はない。</p>
<p>公平性 評価</p>	<p>⑤ 受益者負担の適正余地</p> <p>●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？</p>	<p><input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p>● 受益者負担を求める事業ではない</p> <p>雇用の創出や地域の活性化のために企業立地の促進を行っているものであり、受益者負担を求める事業ではない。</p>

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性)

※担当課長、グループ長、担当者が記載

<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合	
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 公平性の改善	<input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善
→ <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	

---

改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画)

改革・改善による期待成果
 

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	×
	低下		×	×

---

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載

☐ 終了    ☐ 廃止    ☐ 休止    ☐ 統廃合    ☒ 継続    (☐ 見直し    ☒ 現状維持 )

改革・改善の具体的内容(1次評価者と同じの場合も記入)

---

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))

☐ 終了    ☐ 廃止    ☐ 休止    ☐ 統廃合    ☐ 継続    (☐ 見直し    ☐ 現状維持 )

---

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)

☐ 終了    ☐ 廃止    ☐ 休止    ☐ 統廃合    ☐ 継続    (☐ 見直し    ☐ 現状維持 )

# 第 5 章

## 施策 2 基本事業 3

評価対象年度	令和 6 年度	事務事業評価シート				作成日	令和 7 年 5 月 30 日
事務事業名	いい那珂オフィス創業支援事業				事業類型	専門員配置	
担当部課G等	産業部 商工観光課		商工観光グループ		記入者氏名		
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第5章 活力あふれる交流と賑わいのまちづくり				■ 実施計画 対象事業
	施策名		2 地域に活力をもたらす商工業の振興を図る				
	基本事業名		3 雇用対策の促進				
予算科目	一般会計	款 06	項 01	目 02	事業名 いい那珂オフィス創業支援事業	根拠法令	那珂市中小企業者販路拡大事業費補助金交付要綱
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)				<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ～ 年度)		
事業概要							
【全体概要】 商工観光課に企業コーディネイターを配置し、ワンストップの相談窓口を設けることで、起業における相談、支援や企業支援に対する窓口業務の強化並びに一本化を図る。				【業務内容】 専門員による窓口相談業務及び企業訪問業務			

## 1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移										単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (見込)	08年度 (計画)	09年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等					④対象指標(対象の大きさを表す指標)										
市内企業及び創業予定者					事業所数(R3経済センサス活動調査付表1)	箇所	1945.	1945.	1945.	1945.	1945.				
							0.	0.	0.	0.	0.				
②手段(具体的な事務事業のやり方)					⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)										
市役所内に相談窓口の設置 市内企業の訪問					市内訪問企業数	件	112.	105.	105.	105.	105.				
					訪問及び相談件数	件	1062.	1192.	1192.	1192.	1192.				
					コーディネーター配置数	人	2.	2.	2.	2.	2.				
							0.	0.	0.	0.	0.				
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)					⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)										
市内企業における経営上の問題解決を支援する 創業を支援する					問題対応数(CDの年間支援数計)	件	380.	424.	424.	424.	424.				
					創業支援者数	人	14.	11.	11.	11.	11.				
							0.	0.	0.	0.	0.				
							0.	0.	0.	0.	0.				
(2)投入量の推移		単位	05年度(実績)	06年度(実績)	07年度(見込)	08年度(計画)	09年度(計画)	総事業費							
事業費 財源内訳	国庫支出金	千円	4,761	0	0	0	0	0							
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0							
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0							
	その他の財源	千円	237	950	3,095	235	235	0							
	一般財源	千円	15,467	9,481	8,548	11,522	11,522	0							
	事業費計(A)	千円	20,465	10,431	11,643	11,757	11,757	0							
	人件費計(B)	千円	1,295	0.25人	1,560	0.25人	1,560	0.25人	1,560	0.25人					
投入量(A)+(B)		千円	21,760		11,991		13,203		13,317		13,317				
(3)事務事業の環境変化・市民意見等															
①事業を始めたきっかけ			市と市内企業の「顔の見える関係」づくりを進めるにあたり、専門家を配置し企業の様々な相談に応じるなどの支援を行うために、まちひとしごと総合戦略策定を契機に平成28年度から事業を開始した。												
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか？開始時期と比べてどう変わりましたか？)			経営改善のための情報提供、経営力向上支援、資金調達支援、SNS対応を柱とした販路拡大支援、経営者の高齢化に伴う後継者不足対応が求められている。												
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか？)			コーディネーターと経営者が話しながら課題等を整理していくことができ、今後も様々な市内企業の相談を聞いてほしい等の意見がある。												

(4) 前回(令和5年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み					
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	<b>(前回最終評価)</b> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	<b>(前回評価結果を踏まえて見直した内容)</b> 企業支援コーディネーターによる相談体制について、積極的に周知を行った。 創業を目指す方に、必要な知識、アイデアの取得をサポートする創業スクールについて、より周知を行った。	<b>(見直し内容に関する予算への反映)</b> <input type="checkbox"/> 削減（事業費） <div style="text-align: right;">0千円</div> <input type="checkbox"/> 削減（人件費） <div style="text-align: right;">0千円</div> <input type="checkbox"/> 増加（事業費） <div style="text-align: right;">0千円</div> <input type="checkbox"/> 増加（人件費） <div style="text-align: right;">0千円</div> <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし		

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

<p>目的 妥当性 評価</p>	<p>① 市関与の妥当性</p> <p>●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？</p>	<p>■ 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p>市内企業を支援するため「企業支援コーディネーター」と連携した支援を実施することや、その拠点となる「いい那珂オフィス」の維持や運営を行うことについて市の関与は妥当である。</p>
<p>有効性 評価</p>	<p>② 成果の向上余地</p> <p>●当初の見通しに沿った成果となっていますか？●成果が一部の対象者に限定されてはいませんか？●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？</p>	<p><input type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p>市内企業の抱える問題の対応の対応や創業支援のため「いい那珂オフィス」の利活用を図ることや、企業支援コーディネーターの役割は重要である。そのため「いい那珂オフィス」及び企業支援コーディネーターの存在や活動内容を広く周知する必要がある。</p>
<p>評価</p>	<p>③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性</p> <p>●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応が可能であると見込めますか？</p>	<p>■ 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p>■ 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p>類似事業がないため統廃合の余地はない。 また、市内企業支援のための事業であるため、廃止・休止の可能性はない。</p>
<p>効率性 評価</p>	<p>④ 事業費や人件費の削減余地</p> <p>●成果を下げずに、単位当たりのコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？●事業目的にそぐわない支出はありませんか？</p>	<p>■ 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p>■ 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p>事業費は、「いい那珂オフィス」の運営及び企業支援コーディネーター委託費等で、必要最小限の費用であり削減の余地はない。 また、人件費についても、必要最小限のため削減の余地はない。</p>
<p>公平性 評価</p>	<p>⑤ 受益者負担の適正余地</p> <p>●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？</p>	<p>■ 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p><input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない</p> <p>市内企業に対して幅広い支援を行うことを目的とした事業であり、「いい那珂オフィス」の入居者からは、その費用を徴収しており、受益者負担は適正である。</p>

有 効	<p>② 成果の向上余地</p> <p>●当初の見通しに沿った成果となっていますか？●成果が一部の対象者に限定されていますか？●対象数が増加している場合、現状とおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？</p>	<p><input type="checkbox"/> 余地がない      <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある（→3計画の部に「現状維持」以外にチェック）</p> <p>市内企業の抱える問題の対応の対応や創業支援のため「いい那珂オフィス」の活用を図ることや、企業支援コーディネーターの役割は重要である。そのため「いい那珂オフィス」及び企業支援コーディネーターの存在や活動内容を広く周知する必要がある。</p>
--------	---	---

性 評 価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込まれますか？	■ 統廃合の余地がない ■ 廃止・休止の可能性がない 類似事業がないため統廃合の余地はない。 また、市内企業支援のための事業であるため、廃止・休止の可能性はない。	□ 統廃合の余地がある（→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック） □ 廃止・休止の可能性がある（→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック）

効率性評価	<p>④ 事業費や人件費の削減余地</p> <p>● 成果を下げずに、単位当たリストを削減し活動指標を増加（維持）させることはできませんか？ ● 担当者の業務の一部（全部）を民間委託にすることで、担当者の負担（人件費）を減少できませんか？ ● 事業目的にそぐわない支出はありませんか？</p>	<p>■ 事業費の削減余地がない      □ 事業費の削減余地がある（→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック）</p> <p>■ 人件費の削減余地がない      □ 人件費の削減余地がある（→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック）</p> <p>事業費は、「いい那珂オフィス」の運営及び企業支援コーディネーター委託費等で、必要最小限の費用であり削減の余地はない。</p> <p>また、人件費についても、必要最小限のため削減の余地はない。</p>
-------	--	--

公平性評価	<p>⑤ 受益者負担の適正余地</p> <p>●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない、負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？</p>	<p>■ 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある（→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック）</p> <p><input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない</p> <p>市内企業に対して幅広い支援を行うことを目的とした事業であり、「いい那珂オフィス」の入居者からは、その費用を徴収しており、受益者負担は適正である。</p>

### 3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性)

☐ 終了    ☐ 廃止    ☐ 休止    ☐ 統廃合

☒ 継続 → ☒ 見直し(改革・改善) → { ☐ 目的の再設定  
☐ 公平性の改善 }    ■ 有効性の改善    □ 効率性の改善

→ ☐ 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)

---

改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画)

引き続き「いい那珂オフィス」や企業支援コーディネーターの周知活動を実施する。また県央地域連携中核都市圏の企業支援コーディネーター同士の情報交換や連携を図ることで、更なる企業支援を実現していく。

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	✕
	低下		✕	✕

※担当課長、グループ長、担当者が記載

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載  
☐ 終了 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 統廃合 ☒ 継続 ( ☒ 見直し ☐ 現状維持 )  
 改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じ場合も記入)  
 引き続き「いい那珂オフィス」や企業支援コーディネーターの周知活動を実施する。また県央地域連携中枢都市圏の企業支援コーディネーター  
 同士の情報交換や連携を図ることで、更なる企業支援を実現していく。

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))  
☐ 終了    ☐ 廃止    ☐ 休止    ☐ 統廃合    ☐ 継続    ( ☐ 見直し    ☐ 現状維持 )

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)

☐ 終了    ☐ 廃止    ☐ 休止    ☐ 統廃合    ☐ 継続    ( ☐ 見直し    ☐ 現状維持 )